

歩 -AYUMI-

一歩一歩進む 少しずつ目標に近づく

TREND in 2023

今年度の就職事情

職場定着就職支援員土田建夫さんの企業訪問レポート

今年度から職場定着就職支援員として本校で勤務している土田建夫さんが、今春の卒業生が就職した県内企業を訪問し、卒業生の勤務状況や、企業の経営状況及び採用計画等の聞き取り調査を実施しました。

①卒業生の勤務状況

就職した卒業生は元気に頑張っているようです。コロナウィルス規制緩和傾向により合同研修に切替えている企業もあります。

②企業の経営状況と求人状況

コロナウィルス感染拡大の影響で、ある製造業では半導体部品の入手困難と中国等の買い控えにより生産量は低迷しているようです。販売業ではコロナウィルス規制緩和によりマスク、アルコール類の売上げが激減している様子でした。県南大手の製造業各社は、昨年から今年、来年に向け新棟建築、社屋増築など増産体制への投資を行っており、今年は20名規模の新卒者の求人を予定しています。大手企業の求人競争は激化すると思われます。事務職では、「(株)プレステージ・インターナショナル横手キャンパス」も横手進出7年目を迎え、現在社員380人となっていますが、今後は500人規模まで採用を拡大する予定です。建設業は、どの企業も仕事量は確保しているものの、生徒からの就職希望が少ない業種でもあり、慢性的な人手不足の企業が多くなっています。従業員の高齢化問題も抱えており、各社2~4名の求人を予定しています。小売業、サービス業においても、昨年と同様の企業が1~2名の求人を想定しています。

新しい
職場定着就職支援員
着任



昨年度、就職支援員をされていた小林大介さんが退職され、今年度から新任の職場定着就職支援員（就職支援員から名称変更）として土田建夫（たてお）さんが勤務されています。

土田さんは地元の民間企業を定年退職されたあとで、本校で支援員として働くことになりました。民間企業の実情をよく理解しておりますので、就職志望の生徒の皆さんに的確な助言をしてくださることと思います。

土田さんは、主に県内の民間企業就職について様々なサポートをしてくださることでなっております。就職先の選定、志望する企業の詳細情報、就職試験の面接対策など就職に関するアドバイスが必要なときは、進路指導室にいらっしゃる土田さんに話しかけてみてほしいと思います。

1年生へ

この夏休みに進路を考えよう
高校3年生の今頃は進路目標達成の準備に追われます。あと2年後ですが、思ったよりも時間は早く過ぎます。親類の人と会う機会もある夏休みに、周りの人と一緒に将来のことを考えてください。

2年生へ

多くの体験をしよう
インターンシップやオープンキャンパスなど、様々な体験活動に使えるのはこの夏休みです。進路実現に向けて多くの体験を積んでください。ここで積んだ体験は後に活かされる時がきます。

3年生へ

目標実現に向けて頑張ろう
就職の人も進学の人、いよいよその準備に本格的に取りかかります。限られた時間を大切にして、自分の目標達成のために努力してください。後悔することがないように、毎日を過ごしましょう。

5年間の勤務を終えて

英語指導助手スティーブン・ザッカーリー・ビージー先生からのメッセージ



2018年から本校でALT（英語指導助手）として勤務しておりましたスティーブン・ザッカーリー・ビージー先生が任期満了となり、このたび帰国することになりました。帰国にあたって、翔北生に対して、進路を考える上でのアドバイスをお願いしました。

When it comes to a career, I think it's important to ask yourself what kind of person you are. Are you someone who lives to work? Or, perhaps, you're someone who works to live?

Someone who lives to work puts a lot of value on their career. It's important to their feelings of self-worth. Having their job and doing it well makes them happy. Money is just icing on the cake.

Someone who works to live puts little value on the job they have. They are primarily working for money, so they can then spend that money on the things they truly care about. The specific job they happen to be working at the time has little weight on their feelings of self-worth.

While it's true that the former type of person will likely end up much wealthier than the latter, there is no wrong answer here. Personally, I fall under the latter type. I worry little about what I happen to be doing career wise at any given time in my life.

I went to school for Psychology and ended up teaching English in Japan for 5 years. Now, I'll be working in I.T. when I get back to America. If I committed to Psychology from the beginning, I'd be richer in wealth, but poorer in experience. It's a trade off, as most things in life are.

It seems impossible to have life figured out when you're a teenager, but it'll come to you. Take life day-by-day and just enjoy and experience as much as you can. Figure out all the other stuff like dreams, career, money, and even love slowly along the way. That's the key to life. Remember, Life is a marathon, not a sprint.



進路というと、自分がどんな人かを自分自身に問うのが大切だと思う。働くために生きる人か。もしくは、おそらく、生きるために働く人か。働くために生きる人は自分の職業に多くの価値を置く。それは自分の自尊心にとって大事なものだ。仕事を持ち、うまくやり遂げることはそのような人を幸福にする。お金は単にケーキ上の砂糖だ。

生きるために働く人は、自分の仕事にはほとんど価値を置かない。そのような人は主に金のために働くのであり、本当に好きなものにそのお金を費やす。その時点でたまたまやっている特定の仕事は、自分の自尊心にとってはほとんど重みがない。

前者は後者よりも最終的にはずっと豊かになるであろうということはその通りだが、ここには間違った答えなどない。個人的には、自分は後者に当てはまる。職業に関して、人生のある時期に自分が偶然にしていることについてはほとんど気にしない。

私は心理学の学校に行ったが、結果的に日本で5年間英語を教えることになった。今、アメリカに帰ったら、IT分野で働くことになるだろう。最初から心理学に関わっていたら、経済的にはもっと豊かになっているだろうが、経験値はもっと乏しいものになるだろう。人生のほとんどのものがそうであるように、トレードオフなのだ。

ティーンの時分に人生を知ることが不可能に思われるが、人生はあなたのもとにやってくる。日々、人生を受け入れ、単純に、できる限り楽しんで経験を積んでほしい。道すがらゆっくりと、夢、職業、お金、そしてさらに愛のような他のもの全てを理解してほしい。それが人生の秘訣だ。覚えておいてほしい。人生は短距離競走ではなく、マラソンなのだ。

「リスキリング」を視野に

高校卒業後の進路を考える際、従来は、将来の職業を目標として定め、そこに到達することがゴールであり、一旦就職すれば定年まで同じ組織に所属し、年功序列によって給料も上がっていくと考えてきた人が多かったわけですが、最近はその考え方は不十分な流れになってきているようです。最近、「リスキリング」という言葉が使われ始めています。政府は「三位一体の労働市場改革」で、①「リスキリングによる能力向上支援」②「個々の企業の実態に応じた職務給の導入」③「成長分野への労働移動の円滑化」を同時に進めて行くことで、構造的な賃金上昇や賃金格差の縮小を目指しています。今までの終身雇用、年功序列ではなく、働く人に就職後も「リスキリング」（学び直し）をすることを支援し、それぞれが自分の能力を高め、それを必要とするところへ移動して、その新しい力を活かすことで給料を上げる方向へ向かおうとしていることです。今までは就職することが一つのゴールだと考えられていたわけですが、今後は、就職はゴールではなく、就職後に給料を上げるためには自分の価値を高め、より良い条件のところで働いていくことが必要になってくるということです。

高校の勉強は自分の将来と関係がないと思うことも多いかもしれませんが、「リスキリング」を視野に入れると、今学んでいることがいつどこで活かされるのかは誰にもわかりません。そんな視点も持ちながら、高校時代を過ごすことも大切だと感じます。（菊地）

